

宮川水系 与八郎谷川 洪水浸水想定区域図 [家屋倒壊等氾濫想定区域] (河岸侵食)

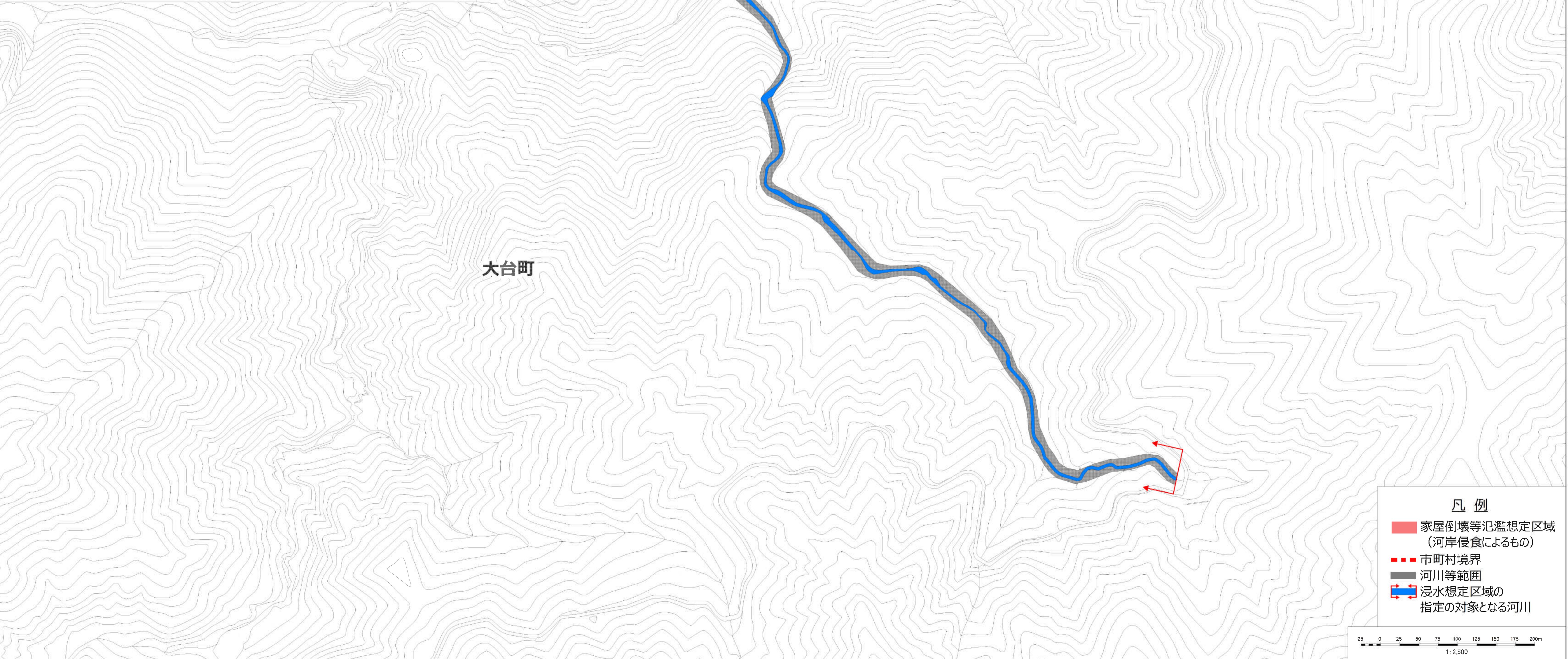


- 1 説明文
- (1) この図は、宮川水系与八郎谷川について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域（家屋倒壊等氾濫想定区域）を表示した図面です。
 - (2) この家屋倒壊等氾濫想定区域は、公表時点の与八郎谷川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により与八郎谷川の河岸の侵食幅を予測したものです。
 - (3) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、与八郎谷川の河岸が侵食された場合における、家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すものですが、個々の家屋の構造・強度特性等の違いから、この区域の境界は厳密ではなく、あくまでも目安であることに留意してください。

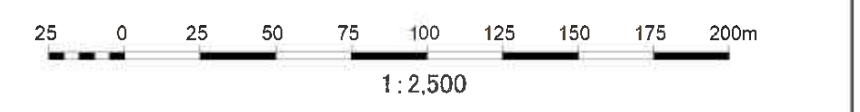
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 : 三重県
 - (2) 公表年月日: 令和4年7月26日
 - (3) 対象となる河川
・ 宮川水系与八郎谷川
検討対象区間 左岸: 三重県多気郡大台町大杉字堂倉谷から宮川合流点まで
右岸: 三重県多気郡大台町大杉字堂倉谷から宮川合流点まで
 - (4) 算出の前提となる降雨 : 宮川流域の12時間の総雨量51.9mm
 - (5) 関係市町 : 大台町



家屋倒壊等氾濫想定区域 (河岸侵食) の該当なし



- 凡例
- 家屋倒壊等氾濫想定区域 (河岸侵食によるもの)
 - - - 市町村境界
 - 河川等範囲
 - ⇄ 浸水想定区域の指定の対象となる河川



この地図は、三重県庁舎建設工事関係の承認を得て、国土院の「2011年度国土院プロジェクト」(地形データ提供)により作成されたものである。著作権は、国土院に帰属する。本図を複製または転載する場合は、国土院の承認を得なければならない。